

JERS-1 宇宙へ

1992年2月11日10時50分に宇宙開発事業団種子島宇宙センターから打ち上げられた地球資源衛星1号(JERS-1, 「ふよう1号」と命名)は, 初期の合成開口レーダー(SAR)アンテナ展開でのトラブルも乗り越え, 現在地上約570kmを1日に15回づつ地球を周回しながら地球観測画像を取得中である。ここでは, 地上試験中の衛星本体, H-Iロケットによる打ち上げの様様, そして光学センサー(OPS)による可視-近赤外バンドで撮像されたフォールスカラー画像を掲載した。(編集委員会)



1. (左)宇宙開発事業団種子島宇宙センターからの打ち上げ風景(1992年2月11日)。宇宙開発事業団提供。
2. (下中)JERS-1外観。宇宙開発事業団提供。
3. (下)JERS-1が撮像したアルゼンチン西部サンファン州のフォールスカラー画像。左右75km, 上が北, 画面左の山地は中-古生代の炭酸塩岩-砕屑岩類が露出し, 右側の平原には格子状の地震探鉱の測線跡がみえる。(財)資源観測解析センター提供。

